

堺市の生物多様性にふれる冊子

堺いさものの通信



メジロ

2025 秋 号



オンブバッタ



キビタキ



シロマダラ



ハラビロカマキリ

堺にすむ いきものたち

生物多様性とは、単に動物や植物の種類が多いということだけを意味するものではありません。地球上では、様々な環境の中で多様な生き物が食べる・食べられる・共生するなど、お互いにつながりをもって生きています。このように、多様な生き物がお互いにつながりをもって生きていることを生物多様性といいます。

ここでご紹介する写真は、すべて堺市内で撮影された写真です。WEBサイト「堺いきもの情報館」に市民の方などからご投稿いただきました。個性豊かな生き物たちや彼らのすみかを見て・知って、生物多様性を感じてみてください。生物多様性とは身近なものなんですよ！



ナツアカネ



アオジ



ミヤマホオジロ



クロマダラソテツシジミ



ツユクサ



ルリビタキ



ホシホウジャク



タイワンウチワヤンマ



エナガ

もっと **いき** もの知りになれる！

生物多様性のおはなし

－ 市民科学がつなぐ未来－

「この生き物、なんだろう？」そんな日常の気づきが、科学の発見につながるかもしれません。近年注目されている「市民科学」とは、専門家だけでなく一般市民が科学的な調査や研究に参加する活動のこと。スマートフォンやインターネットの普及により、誰もが自然の観察者として科学に貢献できる時代になりました。

堺市では、市民科学の実践の場としてWebサイト「堺いきもの情報館」を運営しています。中でも「いきもの発見報告」は、市内で見つけた生き物の情報を誰でも投稿できる仕組みです。集まったデータは、希少種や外来種のリスト更新に活用され、専門家だけでは把握しきれない地域の生物多様性を明らかにする貴重な情報源となっています。

実際に、市民の投稿から絶滅したと思われていた種が再発見された例もあります。こうした情報は大学や他の自治体の調査にも活用され、科学的発見につながることもあるのです。

堺市以外でも、市民科学はさまざまな形で広がっています。

たとえば、全国で展開されている「セミのぬけがら調査」では、子どもたちが集めたぬけがらから都市の気温変化や生態系の変化が読み取られています。また、海岸での「漂着物調査」では、プラスチックごみの分布や外来種の侵入経路が明らかになり、環境政策にも役立っています。

あなたの身近な発見が、未来の環境保全に役立つかもしれません。まずは「堺いきもの情報館」で市民科学の第一歩を踏み出してみませんか？



＜編集・発行＞

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL : 072-228-7440 / FAX : 072-228-7317

E-mail : kankyo@city.sakai.lg.jp



WEBサイト
トップページ

ユーザーネーム
sakai_ikimono



Instagram
アカウント